



航空宇宙分野

チタン合金の日本パイオニア企業として、
世界の航空機メーカーから認められた高品質と実績。

航空機用チタン合金

「軽い」「強い」「錆びない」という特性を持つチタンは、航空宇宙分野では欠かせない素材です。「新素材」と思われがちですが、当社は、1949年に国内で初めて研究開発に着手。1959年には、日本初のジェットエンジン用にチタン鍛造品を納入し、航空宇宙分野に進出しました。まさに我が国におけるチタンのパイオニアであり、現在もトップメーカーとしての地位を確立しています。

航空機部品には機体やエンジンのメーカーから厳密な製造認定があり、品質だけでなく、製造設備、工程管理、最終検査などチェック項目は多岐にわたり、すべてをクリアする必要があります。また、納入実績も重視され、50年以上の歴史を持つ当社は、世界の航空機メーカーから認定を取得。特にエンジンでは、世界の3大エンジンメーカーの一角であるロールスロイス社から認定を受けています。

最近では、民間航空機において一機当たりのチタン使用量が増加しています。また、ボーイング社では中国やインド等の旅客需要拡大を想定し、今後20年間で約3万機が必要になると予測しており、機体・エンジン向けチタンのさらなる需要拡大が期待されています。

また、宇宙分野においては、JAXA(宇宙航空研究開発機構)が国際宇宙ステーションへの物資輸送機として2009年打ち上げを計画している「HTV」に、当社のチタン合金製品が採用されました。今後も高品質のチタン合金製品が、世界の空、宇宙へと、幅広く採用されることを目指します。

■民間航空機用エンジンのチタン使用例

